

## 完了報告書（平成 23 年度）

提出者 平井 芽阿里

提出年月日 2012 年 3 月 31 日

### 【プロジェクト名】

和文：愛知・兵庫・神奈川の沖縄県出身者の家族とコミュニティに関する考察  
-多元主義的アプローチ-

英文：Study of Family and Community of Uchinanchu living in Aichi and Kanagawa, Hyogo area:  
An Pluralist Approach.

### 【メンバー構成】

研究代表者：平井芽阿里

幹事：同上

メンバー：平井芽阿里

### 【ねらいと目的】（600 字程度）

本研究のねらいは本土在住（愛知、兵庫、神奈川）の沖縄県出身者の家族とコミュニティを対象とし、個々人の日常的実践を故郷との宗教的連帯に留意しながら多元的に捉えることによって、親密圏と公共圏の再編成に関する考察を行うことである。

従来の研究で「沖縄人」と捉えられることの多かった本土在住の沖縄県出身者の家族は、例えば 1970 年代に愛知に移住した宮古島出身の父と石垣島出身の母の間に生まれた名古屋生まれ名古屋育ちの息子で構成されることもあれば、沖縄本島出身の両親から生まれ神戸で育ち、宮古出身の両親を持つ横浜出身の嫁で構成されることもある。さらに「沖縄人」のコミュニティには、宮古・八重山・沖縄本島各地の出身者ごとの島嶼的差異に加え、沖縄県出身者の 2 世や 3 世、沖縄ファンの本土出身者も含まれている。つまり、「沖縄人」の家族やコミュニティに表象される「沖縄」は決して同一でも固定的でもなく、再編され創造されていると考える必要がある。

そのため本研究では、沖縄県出身者を含む家族やコミュニティの個々人に着目し、個々人が行う日常的実践（祭祀儀礼、故郷との宗教的連帯、コミュニティへの参加）を多元的に分析することによって親密圏と公共圏の再編成に関する考察を行うことを目的とする。

### 【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

2011 年 6 月 18～20 日：本土在住の沖縄県出身者が参加する祭祀儀礼に関する調査（沖縄県宮古島西原）

2011 年 10 月 5～9 日：本土在住の沖縄県出身者が参加する祭祀儀礼に関する調査（沖縄県宮古島西原）

2011 年 12 月 17 日：本土在住の沖縄県出身者へのインタビュー調査（東京都北区）

### 【成果の概要】（800 字程度）

本研究では、まず本土在住の沖縄県出身者を含む家族として、愛知県在住（A 家族）、東京都  
在住（B 家族）、兵庫県在住（C 家族）の家族を対象にそれぞれインタビュー調査を行った。こ  
れまで「沖縄人」の家族と一括りに述べられることの多かった家族の成員個人に着目した結  
果、「沖縄」に対する認識や実践、表象はそれぞれ個々に異なっている、という点を明らかにし  
た。例えば B 家族は、宮古島出身の両親と東京生まれ東京育ちの長男、長女で構成されている。  
父は沖縄の民謡教室を複数経営し、師範として自らも舞台上で演ずる。長男はこれまで沖縄へは 3  
度しか行ったことがないが、長女は、父の民謡教室の経営を手伝うなど、沖縄県出身者との交  
流の機会も多い。父が表象する「沖縄」は時に出身地の宮古島でありながら、娘と共有する「沖  
縄」には沖縄本島が意識されるなど、家族間の「沖縄」表象には、島嶼的差異も含まれている  
といえる。

次に、本土在住で、故郷の祭祀組織（コミュニティ）に加入し、神役として各種儀礼に参加  
している者を対象に、インタビュー調査および各種儀礼の調査を行った。例えば A 氏は、宮古  
島の西原という地域の出身で、1980 年代に愛知県の名古屋市に仕事のため移住した。妻は愛知  
県出身者であり、息子と娘も名古屋市で生まれ育ったため、家庭では方言を使用することはな  
く、特に「沖縄」を意識することはないという。しかし、個人的に故郷の祭祀組織に加入する  
ために神役に就任し、年 3 回以上、各種儀礼に参加している。儀礼を行う聖地では、神々に関  
する知識や知恵が継承されるが、この知識は神役を経験した者同士のみが共有するものであり、  
家族であっても秘儀として守られる。つまり、A 氏の事例のように、同じ家族間であっても、  
共有されない「沖縄」もあるといえる。

以上のように、本研究は、本土在住の沖縄県出身者の家族とコミュニティを対象とし、個々  
人の日常実践を多角的に分析することによって親密圏と公共圏に表象される「沖縄」、共有さ  
れる「沖縄」はそれぞれ異なり、常に創造され再編されている点を明らかにした。

### 【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	300(千円)	実績額



宮古島西原のマークツツ 1



宮古島西原のマークツツ 2